

2023年県内企業の夏季ボーナス支給額アンケート

群馬経済研究所 主任研究員 半田浩己

県内企業に対して、下記の通り、今夏季ボーナス支給額のアンケート調査を実施した。

【アンケート調査要領】

調査時期・・・2023年5月下旬～6月上旬
 調査対象・・・県内に事業所を有する企業 1988社
 調査方法・・・郵送により配布、回収
 回答数・・・411（回答率 20.7%）

1. ボーナス支給の有無

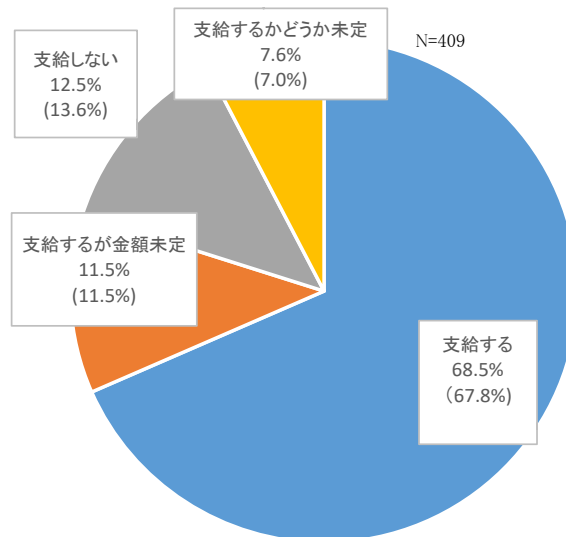
ボーナス支給の有無については、「支給する」と「支給するが金額未定」の企業を合わせると、80.0%が今夏ボーナスを支給する予定である（図表1）。昨夏の調査では、同 79.3%であり、ほぼ同じ割合となった。

2. ボーナス支給額の見通し

ボーナス支給見込み額と昨夏の実績をあわせて尋ねたところ、従業員数で加重平均した今夏の一人当たりボーナス支給額は、45万7700円（昨夏比+2.6%）、平均支給月数は、1.74カ月（同+0.02カ月）となる見通しである（図表2）。

昨夏に比べ、製造業、非製造業とも支給額および支給月数が増加している。

図表1 夏季ボーナス支給
 （括弧内は前年の調査結果）



注：回答不明先除く。以下同様。

図表2 県内企業の夏季ボーナス支給額と支給月数

（単位：社、円）

	回答企業数	支給額			支給月数		
		23年	22年	増減率	23年	22年	差
製造業	67	460,600	449,900	2.4%	1.72カ月	1.71カ月	0.01カ月
非製造業	142	455,800	443,500	2.8%	1.75カ月	1.72カ月	0.03カ月
全業種計	209	457,700	446,200	2.6%	1.74カ月	1.72カ月	0.02カ月

注：100円未満を四捨五入。

従業員規模別では、今夏の支給額は昨夏に比べて、「29人以下の企業」を除く、いずれの規模でも支給額が増加する見通しである（図表3）。

図表3 従業員規模別の夏季ボーナス支給額

（単位：社、円）

従業員数		29人以下	30人以上 99人以下	100人以上 299人以下	300人以上
		回答企業数		84	84
支給額	① 23年	355,300	423,700	431,200	538,000
	② 22年	357,200	413,500	417,700	525,400
	差額①-②	▲ 1,900	10,200	13,500	12,600
	増減率	▲0.5%	2.5%	3.2%	2.4%

注：100円未満を四捨五入。

3. ボーナスの支給時期

県内企業のボーナス支給時期については、7割弱の企業が7月に支給する見込みである（図表4）。

今夏は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行して初めてのボーナス支給であり、コロナ禍で外出制限をしていた昨年、一昨年を上回るモノやサービスへの支出が見込まれる。

図表4 夏季ボーナス支給時期

（単位：社）

支給時期	回答企業数	回答率
5月以前	9	2.7%
6月1日～10日	19	5.8%
6月11日～20日	22	6.7%
6月21日～30日	22	6.7%
7月1日～10日	79	23.9%
7月11日～20日	93	28.2%
7月21日～31日	52	15.8%
8月以降	34	10.3%
合計	330	100.0%

4. ボーナス支給に影響を与えた外的要因

今夏のボーナス支給の有無やボーナス支給額に影響を与えた外的要因では、「原材料価格の上昇」が53.5%と半数以上を占め、次いで「エネルギー価格の上昇」が49.4%となった。（図表5）。「新型コロナウイルス感染症」は、26.2%と昨夏と比べ影響が小さくなっている。

今冬の予想については、ほぼ今夏と大きな違いはないが、「新型コロナウイルス感染症」が23.0%に減少しており、さらに影響は弱まるとみられる。

図表5 ボーナス支給に影響を与えた外的要因（複数回答）

